

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

牛久沼で魚を捕獲したウケ

昭和42年(1967年)



【写真2】岸辺の浅いところに設置するため、ウケの上部が水面からのぞいています



【写真1】冬季はウケが傷まないように、沼から上げていました

昭和42年に庄兵衛新田町で撮影された写真です。牛久沼の岸辺に積み重ねられている竹製の籠(写真1)は、ウケと呼ばれる漁具です。4月から6月に、岸辺のマコモやガマなどの水生植物の間に仕掛け(写真2)、産卵のために入り込むコイやフナ、ナマズを捕獲しました。



「昔のうしく」の写真(とくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真)を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

第29回

クヌギ

クヌギの樹幹：ひたち野みずべ公園
平成24年9月25日撮影



果実：ひたち野みずべ公園
平成23年11月15日撮影



雄花序の枝先半分：
城中町斜面林
平成15年4月17日撮影

ブナ科コナラ属の高さ15mになる落葉広葉樹の高木です。本州の岩手・山形県以南から琉球に分布し、市内では雑木林の主要樹種です。樹皮は灰褐色で不規則に割れます。葉は互生し長さ5〜15cm楕円状披針形で、枯れ

葉が落ちにくく春まで多く残ります。雄花序は黄色で下垂し、長さ10cm内外です。雌花序は新枝上半部の葉腋に1〜3個つきまします。果実は他のドングリに比べて大きく径2〜2.3cmの球形で、2年目に熟します。材はかつては薪炭材として、現在ではシイタケ栽培のほだ木として広く植栽されています。名前のクヌギについては、国木(クニキ)という意味の故事があります。
※牛久の里山樹木ハンドブック15ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章：石川満夫、写真：戸塚昌彦、渡辺泰)

文芸さろん | 皐月 |

春うらら遅刻の君の笑顔かな	春日傘光をのせて待合せ	吹き流し障子にゆらぎ子らの声	大空に願いをこめて鯉まつり	春日傘琉球絨のちゅらのひと	ウオーキングみんな楽しく汗ながす	青餛や卓にころがる盃ふたつ
サッコ	涼	和多田さん	山崎さん	一朵	月田さん	空

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
E-mail: kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)